

呉母親大会を開催しました



8月27日（土）、呉ビューポートにて呉地区母親大会を開催。「呉市では自己負担ばかりがなぜ増える？—税金の使われ方と私たちの暮らしを考える—」をテーマに広島自治体問題研究所の事務局長、橋本和正さんに講師をお願いした。呉市では2007年頃より財政危機宣言がされ、ゴミ袋が有料化、指定管理制度のもと公民館がまちづくりセンターとされ高い使用料を利用者に課す等、市民生活に係る部分で自己負担を増やす一方、新市庁舎には130億円（他市では同規模のものが90億で建てられている）、戦艦大和の海底調査に8000万、旧軍港都市として日本遺産に認定され補正予算を1300万円組む等、暮らしとはかけ離れた税金の使い方を行っている。どうにかできることはないだろうか、地方財政の法的なしくみの基礎を学び合った。



硬いテーマだったが、参加者は40名。大変分かり易いお話をいただき、グループ討議や全体討論では多くの発言があった。市議さんにも参加をいただきお話を聞くこともできた。初参加者の「新市庁舎が建てられる時、中央公園の多くの古い木が切られるのをずっと見ていた。残念で仕方なかったので参加してみようと思った。」という声を聞き、広く呼びかけることが

大切との思いを強くした。感想の中から2つ紹介する。

税金は私たち市民の共同財産だと改めて認識しました。そして、使い道を決めるのも私たちなのですね。そういう認識を持つと、今の呉市はいったい誰のために税金を使おうとしているのか。皆さんの実態のお話を聞き、いかにないがしろにされているのかと思いました。



いままで「予算がありません」という言葉に、どう誤魔化されていたのかが今日のお話でよく分かった。「予算がない」というのは「お金がない」ということではない。「予算をつける計画をもっていない」ということなのだから「予算をつける仕事をするように」と働きかけていくことが大切なのだわかりました。憲法と地方自治法が国民の「権利」を保障しており、地方自治体の責務は「住民の福祉増進」だということまで意識したことはなかった。住民が主人公ということの意味をしっかりと考えました。受益者負担・指定管理制度・・・言葉に誤魔化されないためにはやはり学び合うことだと思った。

台風が近づく9月4日。心配していた雨風もなく無事終了。参加者数約300名。

第62回福山市母親大会を終えて

黄色のTシャツを着た実行委員だけでなく、多くの皆さんに支えられての大会でした。



午前5つの分科会。

- ・『思いやり予算』って知っていますか？
- ・子どもが大切にされる学校を
- ・いきいき健康に暮らしていくために
- ・食生活で変わる体と心
- ・「遊び」は学びの本能

映画鑑賞から日本の“おかしい”現実をみつめたり、福山の教育の“おかしさ”に我慢せずしゃべりあうことを大事にした保護者カフェの取り組みを聞いたり、笑いヨガで大いに笑い体をほぐしたり、実験でジュースの裏側を見せてもらい添加物のこわさを知ったり、脱メディア！「遊び」で育つ大切さを学んだり熱い2時間半でした。

午後は『ままーずプラスバンド福山』によるフルートアンサンブルのオープニングが始まりました。ママやパパに抱っこ

された幼い子どもたちもフルートの柔らかな優しい音色にシーンと耳を傾け楽しんでいるようでした。

全体会は、県母親連絡会小松さんの来賓あいさつ、熊本地震復興支援カンパのお願い、TPP国会批准絶対反対の特別決議、大会アピール案の採択など。

記念講演は聖カタリナ大学教授の山本万喜雄さん。

「子育てはよろこび～平和の中でこそ～」の演題のもと、ダジャレをちりばめ参加者の笑いを誘いながら“深いことをやさしく”お話しされました。人間を肯定的にとらえること一



否定の中に肯定をみることの大切さを、具体的な子どもの行動を例にしながら語られました。“弱さを弱さとして認めたら強さに”

“戦争は教室から始まっている”“文化を食べよう”など心に残るお話にあふれ、これからの生き方に見通しのもてる元気をもらえた講演でした。

来年はここ福山の地での県大会。みなさんのお力を頂きがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

来年はここ福山の地での県大会。みなさんのお力を頂きがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



母親ニュース

2016. 9. 15
広島県母親連絡会
広島市中区大手町5-16-18
Tel 082-243-1565
Fax 082-298-2304
hahaoya@kyodo-support.com

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることを
のぞみます。

大会が近づきました! みんなの力で 成功させましょう

広島県母親大会まであと10日になりました。参加の呼びかけは進んでいますか? 「安全保障関連法」いわゆる「戦争法」の成立が強行されて9月19日でちょうど1年です。みんなで集まって「戦争NO! 安倍政治を許さない」私たちの想いをぶっつけましょう。

現地では「300人の参加をめざそう」と目標を掲げ、各実行委員が参加者を広げています。現地のがんばりに応えて、各地域からの参加者で会場をいっぱいにしましょう。

オープニング!

アルンバ広島のアンクロン演奏でスタート。続いて、現地の人たちによる合唱と呼びかけ。練習にも熱が入っています。

間違えないで!

①~⑬分科会の受付場所

佐伯区民文化センター
ホール内のロビーで行います。

⑭⑮⑯分科会の受付場所

JR五日市駅北口

分科会予約

20日まで受けつけます

予約が必要な分科会が6つあります。14日現在、⑭分科会「西国街道めぐり」は定員に達したので締め切りました。⑯分科会「童心寺を訪ねて」はあと8名で定員。後の4つの分科会はまだまだ余裕があります。20日まで予約を受けつけますので、申し込みをお願いします。

なお、⑪分科会「リズムでほぐそう! 体と心」は当日でも参加が可能です。

午後からの「木工教室」は定員いっぱいになりました。申し込みはFAXで。082-298-2304まで。

広島県母親大会 IN佐伯

とき 9月25日(日) 10時~16時
9時半受付開始

場所 佐伯区民文化センター



資料代 700円 保育室あります

弁当券(お茶付き500円)を
受付で販売します。

松元ヒロさんの ソロライブ 楽しみですね



今の情勢をどんなふうに笑いに変えられるのでしょうか? 憲法君もどうなるのでしょうか。とても楽しみですね。松元ヒロさんのインターネットのライブ情報を見て、「誰が行ってもいいんですか」と問い合わせの電話もありました。ヒロさんのライブ、多くの方が期待しています。いっぱい笑って、私たちが明日からがんばろうというエネルギーをもらいましょう。

バザーもいろいろあります。

現地、県母親(夾竹桃の会)、各連絡会などからギャラリーいっぱい21のお店が出ます。品物も、袋物、手作り小物、宝石、アクセサリ、お菓子、はちみつ、コーヒー、お寿司、いりこ、化粧品、お譲り品、木の器……とバラエティに富んでいます。しっかり楽しんで買ってくださいね。

団体バスで参加します



福山、尾道、三原、世羅、県北、安芸の各連絡会は団体バスを仕立ててみんなで参加します。